

学齡期障害児：「相談窓口」 についてのアンケート

(大津市障害者自立支援協議会こども部会)

実施期間：2021/11/26～2022/1/10

対象：大津市内在住で、

小学校～高校までの特別支援学級・学校在籍児童・生徒の保護者
アンケート期間中に相談機関に相談に相談に来られた保護者
放課後等デイサービス等の福祉サービス利用中の子どもの保護者、等

1

(最初の自己紹介)

それでは、学齡期「相談窓口」についてのアンケートの報告をします。
大津市障害者自立支援協議会の事務局アドバイザーをしています坂本彩です。

(スライド)

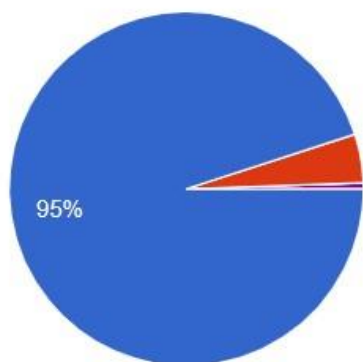
このアンケートは2021/11/26～2022/1/10まで実施しました。
学齡期の障害児の相談窓口が「たりない」あるいは「活用できていない」と
いうことに対して
どうなっているかというアンケートです。

対象は、大津市内在住で、
小学校～高校までの特別支援学級・学校在籍児童・生徒の保護者
アンケート期間中に相談機関に相談に相談に来られた保護者への案内
放課後等デイサービス等の福祉サービス利用中の子どもの保護者などになり
ます。

webアンケートで実施しました。

そのため、何枚配布してどれだけ回答があったかの回収率はわかりません。

1, アンケートに回答している人はどなたですか？
(181件の回答)



- 母
- 父
- 祖母
- 祖父
- 児童養護施設職員

母	172
父	8
児童施設職員	1

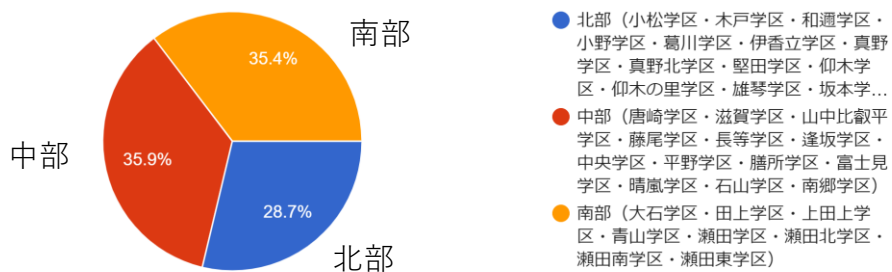
2

181件の回答でほとんどお母さんが中心です。

4、住んでいるエリア（181件の回答）

お住まいのエリアを教えてください。

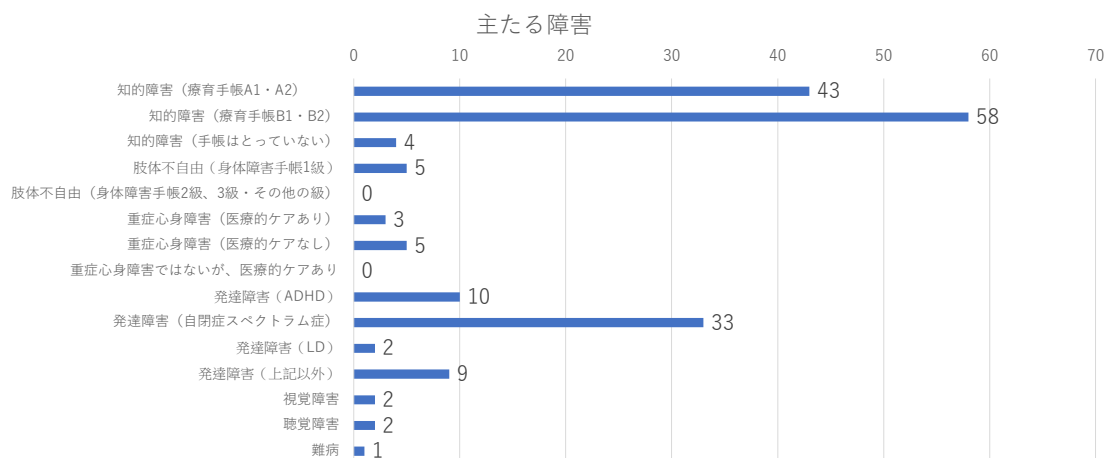
181件の回答



3

北中南、だいたい3割ずつです。

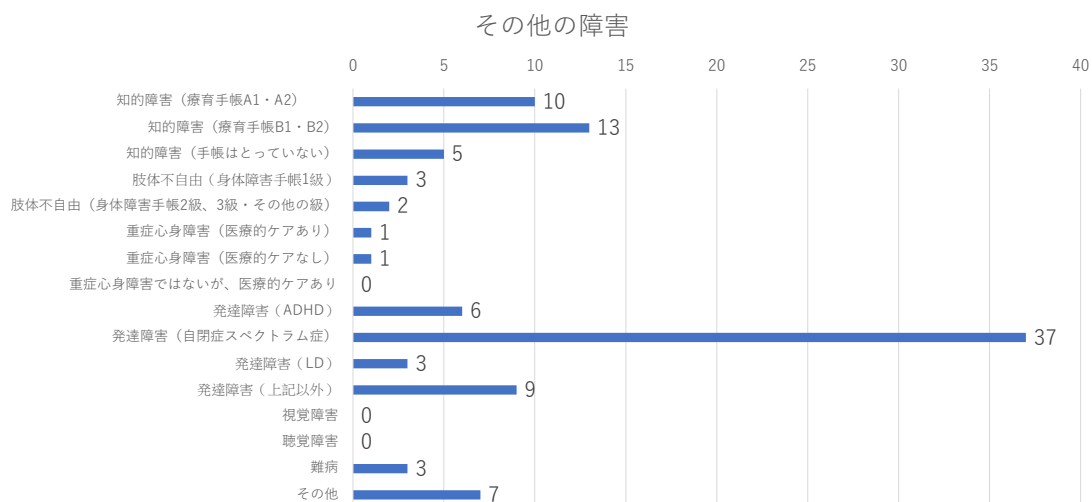
2, 主たる障害をひとつ選んでください。 (181件の回答)



4

知的障害の方が一番多くなっています。

3、他にも障害がある（100件の回答）



5

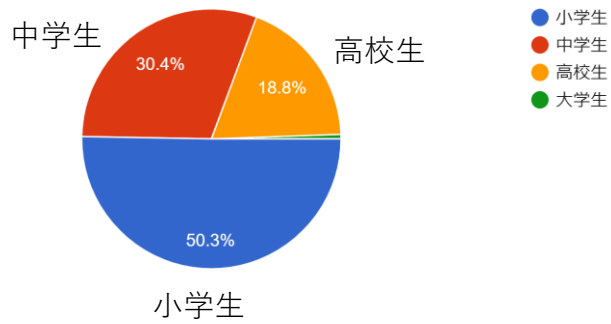
他にも障害がある方は書いてくださいという回答には、発達障害の自閉症スペクトラム症が多かったです。

これは、書いてくださった方が、子どもさんの障害をどのように認識されているかで変わります。

どちらの障害を主たる障害で、もう一つを他の障害を思っておらっしゃるかによって回答の仕方が変わると思います。

5、障害のあるお子さんの年代（181件の回答）

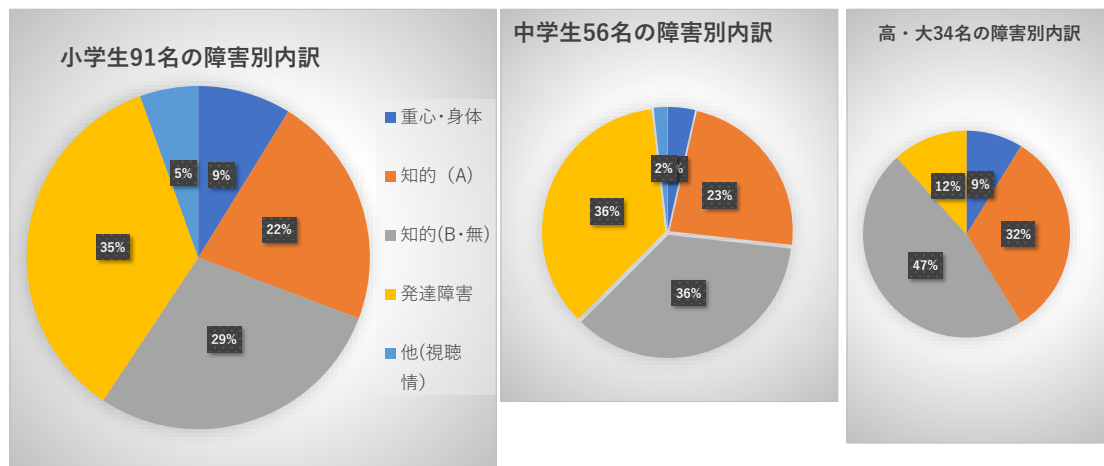
障害のあるお子さんの年代をひとつ選んでください...の場合、一番年長の方の年齢をお願いします。）
181件の回答



6

半分以上が小学生になっています。

年代別の主たる障害の内訳

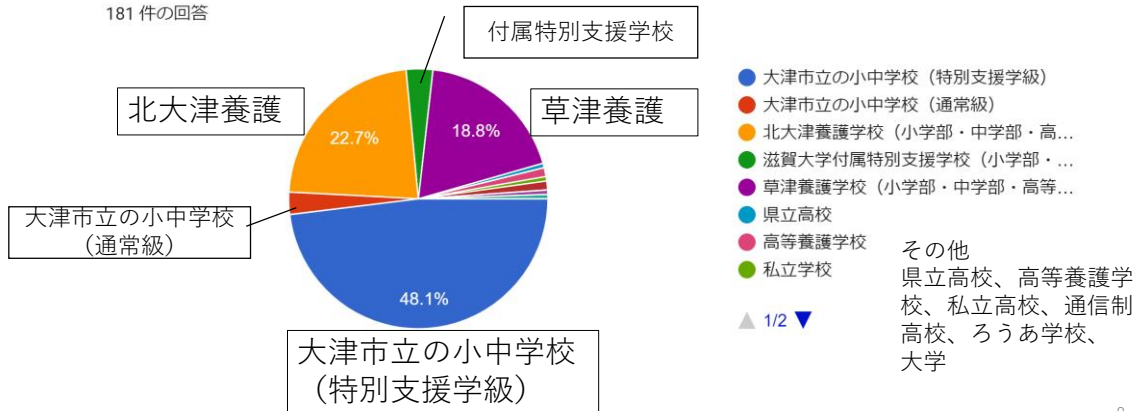


小学生の場合は半数が知的障害、あと35%が発達障害ですが、年代が上がると知的障害の方が増えていきます。

6、通う学校について教えてください。（181件の回答）

障害のあるお子さんの通う学校について教えてください。

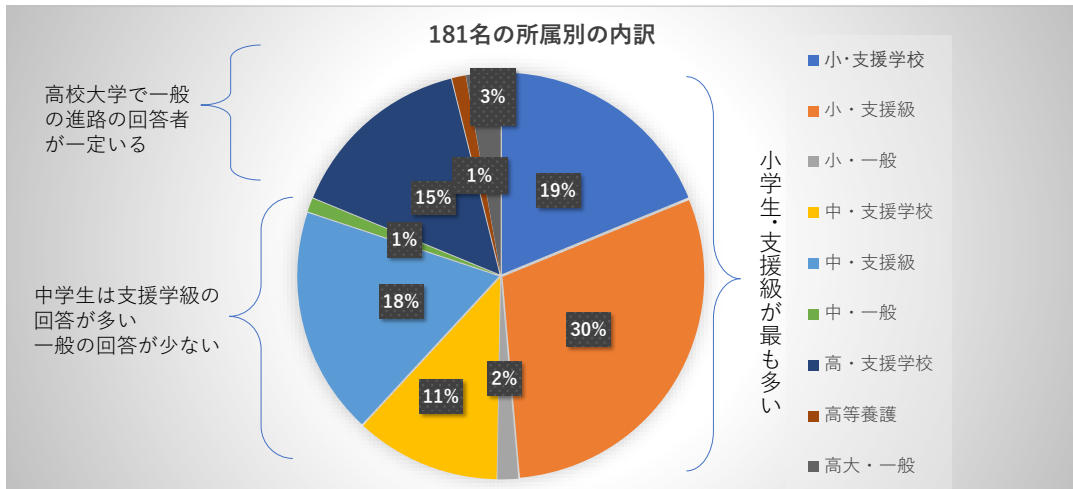
181件の回答



8

大津市立の小中学校の特別支援学級の方が多いです。
 あとは、特別支援学校3校です。

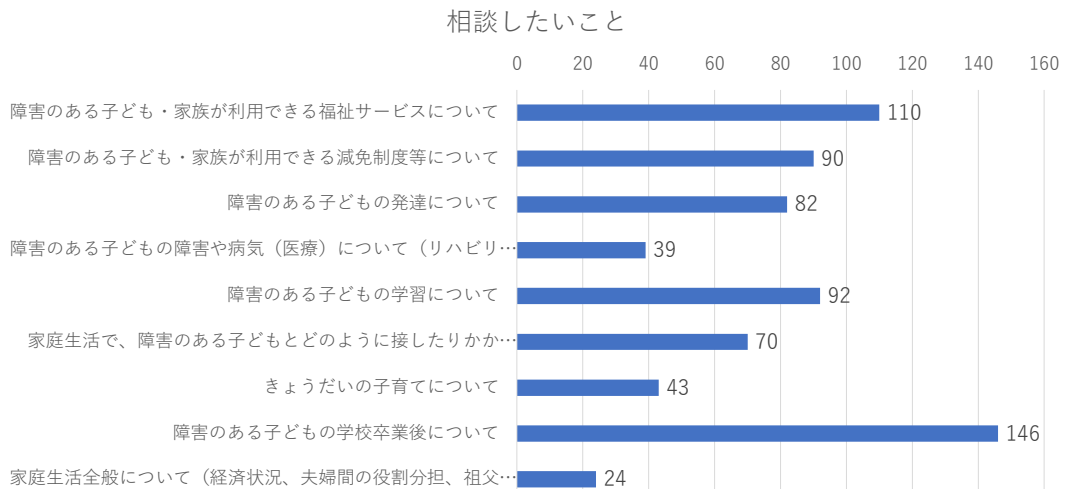
上記結果をまとめた181名の所属別人数の比率



9

所属別の比率です。小学校で特別支援学級に通っている方が一番多かったです。

8、相談したいこと



10

相談したいことについては、学校卒業後が1番多く、次いで利用できる福祉サービスについて等続きます。

チェックされた相談したい項目を六領域に分類した比率 年代層別の分析

	発達	学習・学校生活	卒業進路	医療リハ	福祉・支援	家庭での関わり・家族の状況
小学校91名	56%	65%	76%	23%	63%	62%
中学校56名	46%	57%	86%	25%	66%	54%
高校33大学1	15%	18%	85%	15%	74%	44%
全学年181名	45%	54%	81%	22%	66%	56%

小・中・高とも共通して卒業後の進路について、相談したい人が多い

11

チェックされた相談したい項目を六領域に分類した比率
年代層別の分析したものです。
小・中・高とも共通して
卒業後の進路について、相談したい人が多いです

チェックされた相談したい項目を六領域に分類した比率
障害別の分析

	発達	学習・学校生活	卒業進路	医療リハ	福祉・支援	家庭での関わり・家族の状況
身障・重心 13	15%	15%	92%	31%	85%	23%
知的(A) 44	45%	45%	82%	34%	77%	68%
知的(B,無) 62	40%	55%	84%	18%	63%	44%
発達障害 56	59%	68%	77%	18%	55%	68%
他(視聴情) 6	33%	50%	50%	0%	67%	33%

障害が重度であると、福祉支援の相談希望が多くなる。

知的障害の重い場合は家庭での関わりや家族の悩みが多い

どの障害でも卒業後の進路について相談希望が多い。

発達障害の方は、相談したい内容が多種類ある傾向

12

障害別に同じ分類をしてみました。

こちらもどの障害でも卒業後の進路について相談希望が多い。

知的障害の重い場合は家庭での関わりや家族の悩みが多い

障害が重度であると、福祉支援の相談希望が多くなる。

発達障害の方は、相談したい内容が多種類ある傾向

8、相談したいこと（自由記述・その他）

- 余暇の充実した過ごし方、金銭管理 *注(家庭)
- お風呂や片付けが困難。私も働いていて負担が大きい。(家庭)
- 休日、安全に過ごせる場所について(家庭)
- 学校生活での困りごと、生活面や授業態度など(学校)
- 発達障害児が安心して受診出来る小児科以外の病院(歯科や耳鼻科、予防接種など障害を理解してくれる)が知りたい。(医療)
- きょうだいの不登校について(家庭・兄弟)
- 家族全員発達障害気味でしんどい(家庭)

*注：上記記述は、6領域の中の、家庭生活・兄弟への関わり、学校生活、医療、に分類してカウントに入れている。

家庭生活の中の悩みは、本人への関わり方だけに限らず多岐にわたる

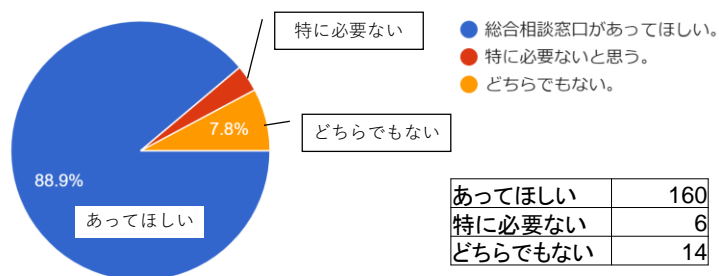
13

(スライド内容を読み上げ)

障害のある子どもに関することならどんな相談でものってくれる総合相談窓口が欲しいと思いますか？

障害のある子どもに関することならどんな相談でも...ってくれる総合相談窓口が欲しいと思いますか？

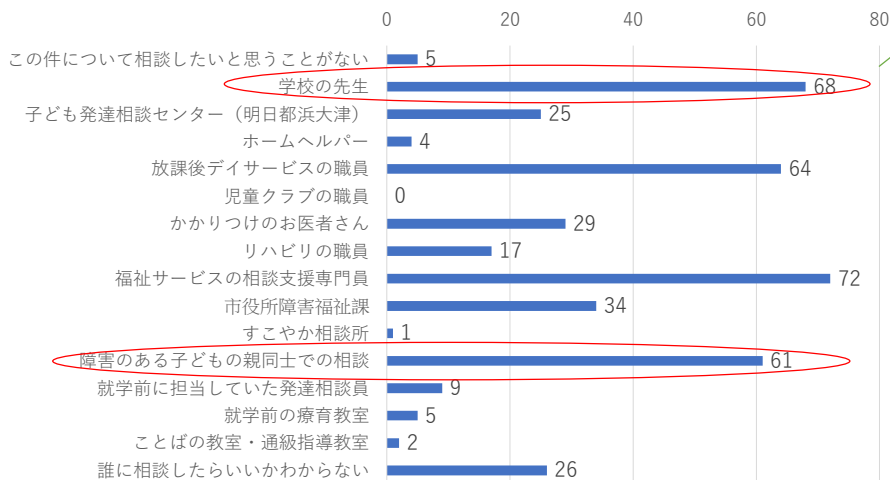
180件の回答



14

90%近くの方があってほしい。

障害のある子どもの「福祉サービスについて」、 相談したいときにはどこに相談していますか？（178件）



学校の先生に相談しても、福祉サービスの事は詳しくないのだが、子どもを知っている先生に相談したいのではないかと。

その他の回答：
ネット、SNSで動画をアップしている医師等、通院先の心理士（有料）、滋賀県の発達障害支援センター

15

総合相談窓口が欲しいと言われる背景として

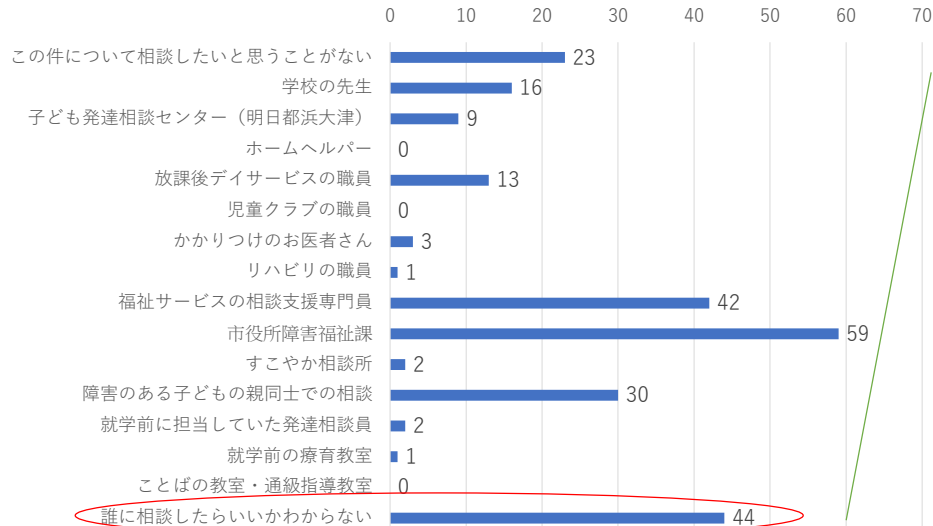
「ひとつひとつの相談窓口をどこに相談されているか」を聞きました。

相談支援専門員がトップなのは当たり前だが、学校の先生も高い。

学校の先生に相談しても、福祉サービスの事は詳しくないのだが、子どもを知っている先生に相談したいのではないかと。

相談支援専門員はわざわざ電話したり面談に出向く必要があり、少しハードルが高いのではないかと。

「利用できる減免制度」などについて 相談したいときにはどこに相談していますか？（178件）



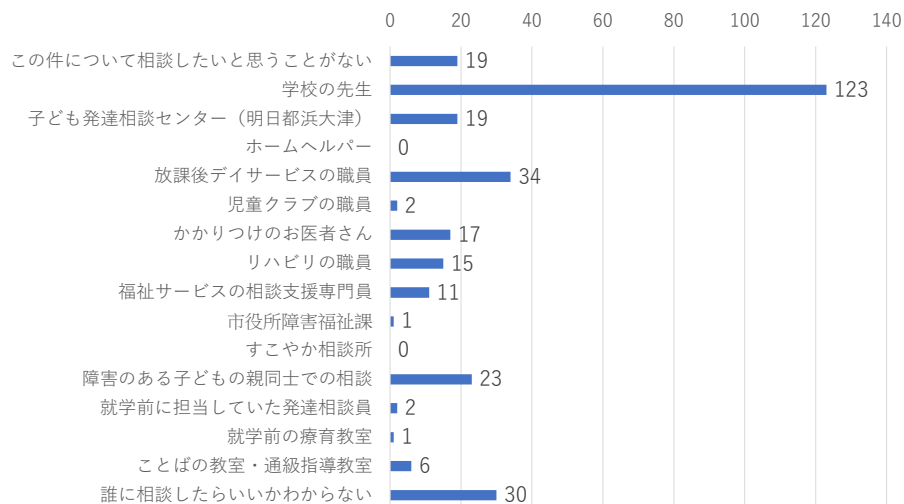
1/4くらいの人が誰に相談したらいいかわからない。

その他の回答：
ネット、SNSで動画をアップしている医師等、通院先の心理士（有料）、滋賀県の発達障害支援センター

1/4くらいの方が誰に相談したらいいかわからない。

とても生活していく上で大切なことだが、どこに相談していいかわからない。

障害のある子どもの「学習について」 相談したいときにはどこに相談していますか？（180件）

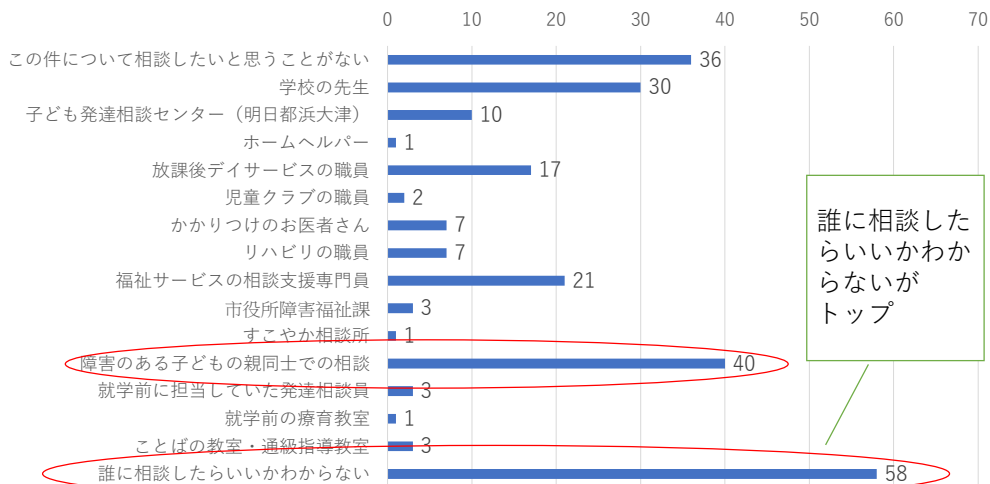


その他：
学習塾、家庭教師、相談場所がわからない、担任に聞いても知識がなく助言が得られない、適応指導教室の臨床心理士、支援学校の巡回相談、インターネット、電話しまくる

ダントツで学校の先生。

「きょうだいの子育てや、家庭のことについて」

相談したいときには誰に相談していますか？ (174件)



誰に相談したらいいかわからないがトップ

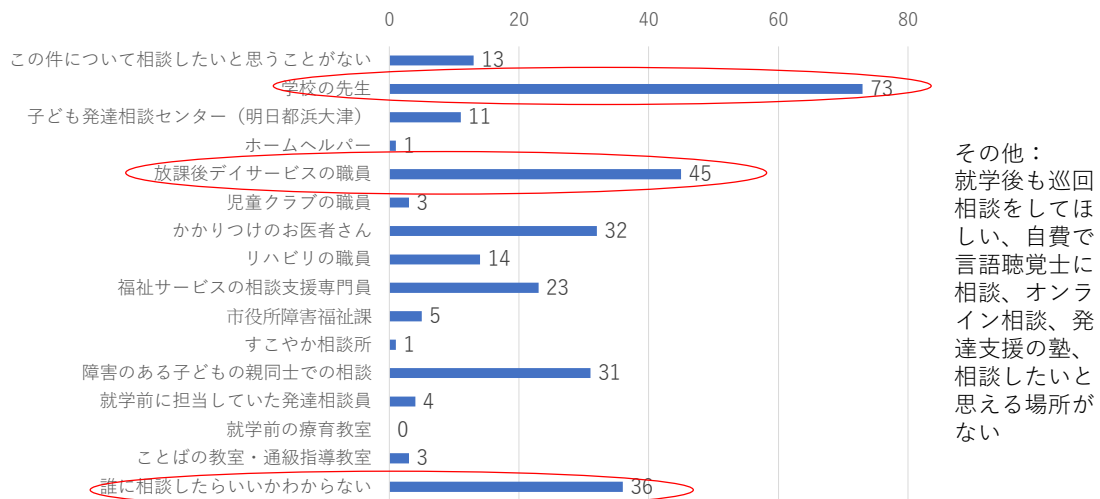
これは抜け落ちている部分。

家族は、きょうだいもほかの家族構成員もいる。

私たち福祉サービスの相談員は障害については相談に乗るけれども、他のご家族のことまで相談にのっていないことが多い。

子育て相談など、家族構成員全体の相談に載ってもらえる場所がない。

知的障害のある子どもさんについて聞きます。
 「知的障害のある子どもの発達について」、
 相談したいときには誰に相談していますか？（148件）



知的障害のある子どもさんについて聞きました。
 「知的障害のある子どもの発達について」、相談したいときには誰に相談し
 ていますか？
 やはり、「誰に相談していいかわからない」が上がってくる。

知的障害のある子どもさんの発達相談の窓口がはっきりしていない
 ということが大きな問題ではないかと思えます。

知的障害のある方について、 発達の相談を現在は誰にしているか（年代別）148名

小学生で、知的障害があるのに、
どこに相談していいかわからない
人が3割もいる。

	先生	支援関係者	医師・リハ	相談支援専門員	子発・発達相談員	市の機関	友人知人	解らない	相談希望なし
小学校	44%	31%	28%	11%	11%	6%	19%	29%	10%
中学校	46%	25%	21%	11%	7%	4%	17%	17%	6%
高校・大学	67%	33%	17%	23%	7%		13%	10%	10%
全学年	49%	34%	27%	16%	10%	5%	20%	24%	9%

半数が日常子どもを見てくれている人に相談。相談先がないから、あるいはわざわざ相談に行かなくてもいいという可能性もある。

20

半数が日常子どもを見てくれている人に相談。相談先がないから、あるいはわざわざ相談に行かなくてもいいという可能性もある。
ここでも小学生で、知的障害があるのに、どこに相談していいかわからない人が3割もいる。

知的障害のある方148名について、
 発達の相談を現在は誰にしているか（所属別）

支援学級所属の3割は
 相談相手が解らない

	先生	支援関係者	医師・リハ	相談支援 専門員	子発・発 達相談員	市の機関	友人知人	解ら ない	相談希望 なし
特別支援学校80 名	59%	38%	30%	14%	5%	6%	29%	16%	10%
支援学級・高等養 護 64名	39%	28%	23%	17%	16%	3%	9%	33%	9%
一般 4名	25%	50%	25%	25%	25%		25%	50%	10%
全所属 148名	49%	34%	27%	16%	10%	5%	20%	24%	9%

支援学校では
 先生への相談
 は半数以上

大津市では、「学齢期の知的障害の発達相談をします」と広く
 看板を出している機関は無いので、
 3割が「どこに相談していいかわからない」になるのでは？

21

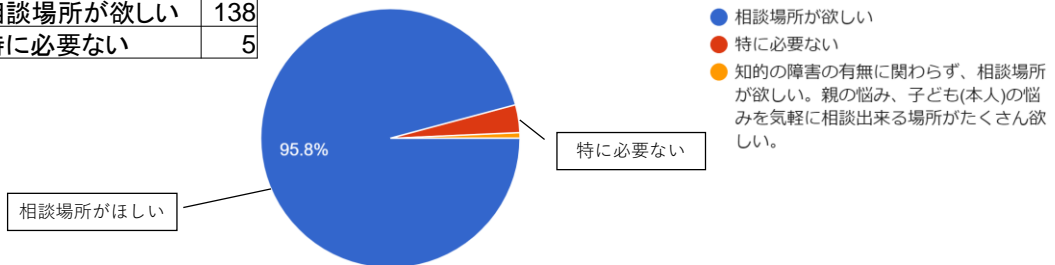
支援学校では先生への相談は半数以上
 支援学級所属の3割は相談相手が解らない

大津市では、「学齢期の知的障害の発達相談をします」と広く看板を出して
 いる機関は無いので、
 3割が「どこに相談していいかわからない」になるのではないかと？

知的障害のある子どもさんについて聞きます。
知的障害のある子どもが学齢期以降も
発達相談を受けられる場所が欲しいと感じますか？（144件）

⑮知的障害のある子どもさんについて聞きます。知...と感じますか？ひとつだけマークしてください。
144 件の回答

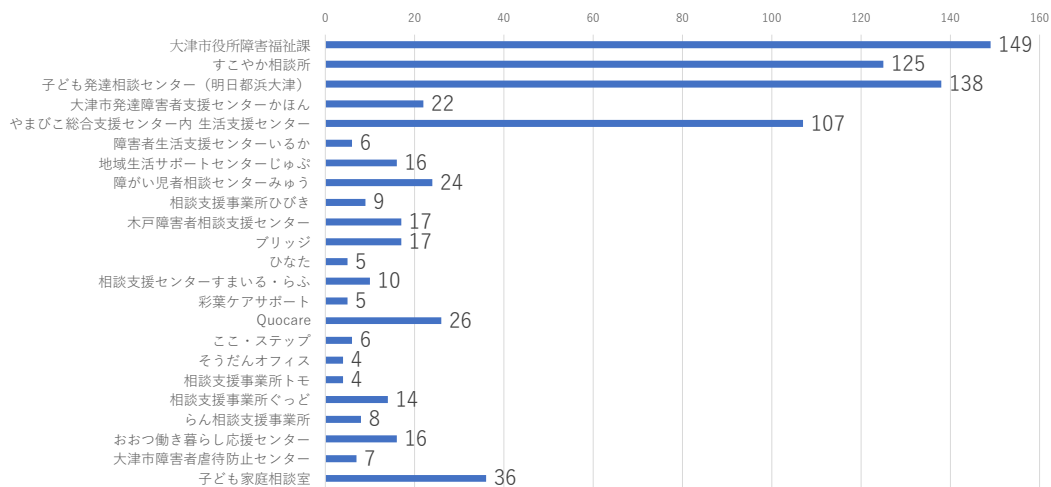
相談場所が欲しい	138
特に必要ない	5



22

95.8%の人が、知的障害のある子どもが学齢期以降も
発達相談を受けられる場所が欲しいと思っておられる

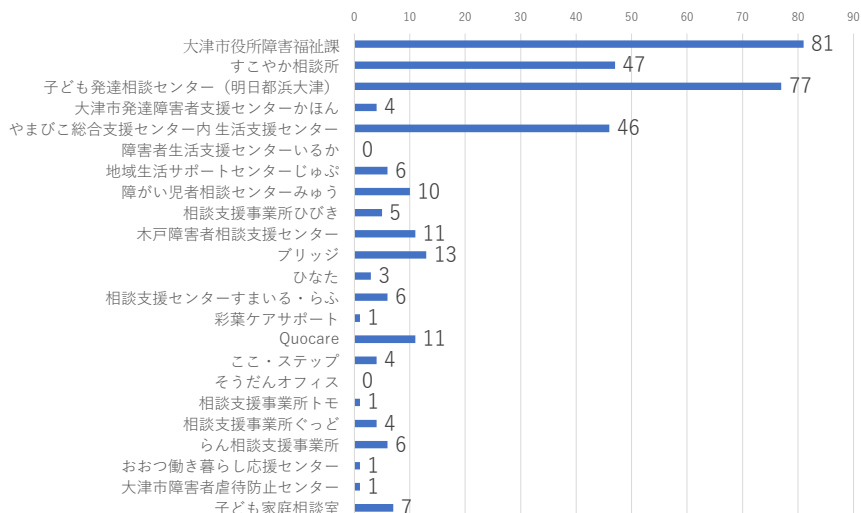
大津市にある以下の相談窓口について知っているものすべてにチェックをしてください。(178件)



23

障害福祉課、すこやか相談所、子ども発達相談センターを知っている人が多い。
やまびこ総合支援センターは、大きい建物で、膳所駅からもよく見えるので知っている人が多い。

大津市にある以下の相談窓口について、**実際に相談したことがある**場所すべてにチェックをしてください。(169件)



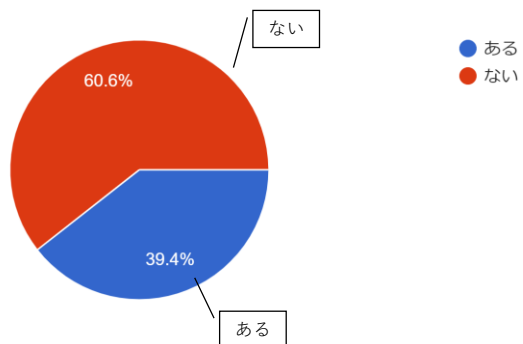
知っている相談機関は、障害福祉・すこやか・子発・やまびこ生活支援センター等の相談機関が多いが、実際に相談したことがある数は知っている人の半数前後。色々と不安なことや相談したいことが多くあるが、その内容について、どこが相談に応じて貰えるのか、ということが解りにくいかもしれない

知っている相談機関は、障害福祉・すこやか・子発・やまびこ生活支援センター等の相談機関が多いが、実際に相談したことがある数は知っている人の半数前後。

色々と不安なことや相談したいことが多くあるが、その内容について、どこが相談に応じて貰えるのか、ということが解りにくいかもしれない

相談窓口で困ったことがありますか（175件）

相談窓口で困ったことがありますか
175件の回答



25

（スライド通り）

どのようなことで困りましたか？（73件）

相談員の説明がわかりにくかった	11
相談したい内容をうまく伝えることができなかった	18
相談したいと思った内容と、その窓口で相談できることにズレがあった	44
相談員との相性がうまくいかなかった	14

その他

相談した内容の回答がなかった

折り返し電話すると言って電話がなかった、担当者もわからず

時間がなくあまり相談に行けない

相談する施設が違っていると一から子供の発達について説明しなければならない。

相談しても、人手が足らず、他を当たって下さいと

予約が一杯ですぐに相談が出来ない

相談員も知識が無いことだった

「あなたの相談に答えられる相談窓口は大津市に無い」と言われた

上記の場所とは違うがもっとこまったらきてくださいといわれた

まず、どこに相談すべき案件かがわかりにくい。

26

「この相談にのってもらえますか？」と言ったら「違いますよ」と言われた。

やはり一旦受け止めてもらえる総合相談窓口が欲しいということにつながる。

相談してよかったと思うことがある方は以下の項目に
チェックしてください（142件）

わからなかったことを聞いた	86
困っていたことが解決した	48
気持ちを聞いてもらえて楽になった	72
信頼できる相談員に会えた	31
先の見通しが見えた	39

その他

いろいろな支援が受けられている
子どもの事をよく知ってくれている
学校との相談に入ってもらえた

相談窓口について
のぞむことすべてにチェックしてください。(172件)

平日だけではなく、土日や夜も相談にのってほしい。	49
メールやLINEなどでも相談にのってほしい。	80
わかりやすく説明してほしい	33
窓口がどこにあるか、何が相談できるのか広報してほしい	102
相談したい内容をどこに相談にいけばいいか検索できるサービスが欲しい	111
同性の相談員に相談にのってほしい	10
ゆっくり話を聞いてほしい	38

その他

相談枠を倍増してほしい

予約がとれない。すぐに聞いてはもらえない

放置せずに解決に向かって、アドバイスをしてほしい

古い情報や古く偏った考え方の方は窓口には置かないでほしい

もっと専門的な知識を持ち、具体的なアドバイスができるような相談員が在籍してほしい

障害のある子にとってなにがベストなのか一緒に親身になって考えてほしい

28

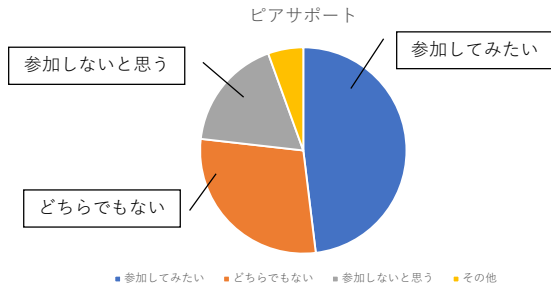
お仕事されている方が多いので、夜間や土日、メールやラインでの相談希望も多い。

検索サービスの声も多い。

相談したいことを選択したら「ここに行ってください」などが出てくるような仕組みが必要なのは？

同じような悩みがある親同士の相談会や集いの場（ピアサポート）などがあれば、参加してみたいと思いますか？（181件）

参加してみたい	87
どちらでもない	53
参加しないと思う	32
その他	9



その他

デイサービスや、保育園などでそういう集まりに行っていて満足している。
 雑多な集まりではなく、価値観が近い集まりであれば参加したい
 大津市ダウン症のひまわりの会に参加しています
 仕事等のため時間が足りない

自由記述より

いろんな障害の方がいる場では、障害の軽い人は、「あなたは軽いからいいよね」と言われてしまい、疎外感を感じたという記述もある。
 行ってはみたいけど、できれば同じような障害のあつまりがいい。

アンケートから見えてきたこと

- 相談全般窓口がわかりにくい、かつ、足りない
- 学齢期の発達相談の窓口が少ない、対象が限られているため足りない
- 学校卒業後、どのように生活していけるのかビジョンが示せていない

(自由記述より、複数あったもの)

- 公的機関の窓口の人が障害について知らないので困った、傷ついた
- 障害福祉の制度がわかりにくい、知らずに使えなくて損をした
- 自分がどんな制度やサービスを使えるのかわからない
- LINEやメールでの気軽な相談希望

30

福祉サービスの相談を学校の先生にしていたり、どこに相談していいかわからない人が一定数いるということは、窓口の分かりにくさと、足りなさを示していると思う。学齢期の発達相談の窓口が少なく、対象が「発達障害のみ」など限られているものもあり、足りなさにつながっている。学校卒業後、どのように生活していけるのかビジョンが示せていない正直に言えば、小学生の子どもさんが将来どうなるかは言えないけれど、「こういう選択肢があります」とか同じような障害の方がこんな風に生活をしていますよなどのお話を聞く場所があることも大切かと思います。

LINEやメールの相談は、きっかけとしては大切。相談員としては、「直接こどもさんに会って話したい」という思いはあるけれども、まず、きっかけとして今の時代LINEやメールは必要なツールだと思う。

自由記述は別紙です。